

〈共同研究〉 称名寺聖教『法事讚光明抄』について（四）

—卷四翻刻—

赤 松 竹 真 城
井 上 達 庆 哉 淳

はじめに

小論は、神奈川県称名寺蔵（神奈川県立金沢文庫管理）の国宝称名寺聖教のうち、『法事讚光明抄』卷四の翻刻を紹介するものである。これまでに、「〈共同研究〉 称名寺聖教『法事讚光明抄』について（一）—概要と卷一翻刻⁽¹⁾」、「〈共同研究〉 称名寺聖教『法事讚光明抄』について（二）—所引の『阿弥陀經』註釈書からみる展望と卷二翻刻⁽²⁾」、「〈共同研究〉 称名寺聖教『法事讚光明抄』について（三）—「少善根」「隨縁雜善」理解に対する一考察と卷三翻刻⁽³⁾」と題して発表した論攷の続編であり、概要ならびに前三巻の翻刻は、前稿を参照願いたい。

『付記』

小論は、公益財団法人 三菱財団の第四八回（一九〇一年度）人文科学研究助成による成果の一部である。また、小論の執筆にあたり、金沢文庫御当局には格別のご高配を賜りました。衷心より感謝申しあげます。

『法事讚疑芥』卷四翻刻

【凡例】

- ①本翻刻は、称名寺聖教『法事讚光明抄』の巻四（94函4-4）を翻刻したものである。
- ②漢字は新字の通行体に統一し、略字（合字）は正字に戻して翻刻した。
- ③各丁数は「」で括って示し、行取りは原本に準じて行頭に行数を示した。
- ④原本は乱丁が確認できるが、正規の順番に並び替えて翻刻した。その際、丁数を示す「」内に（）で原本の丁数を併記した（なお、過去に撮影されたであろうマイクロフィルムでは正規の順番となっている）。
- ⑤訓点・合符は原本に付されている通り翻刻したが、スペースに関しては必ずしも原本にはよらず、原則として見出しの前後および問の直前、科段等に適宜私的に付した。ただし、何れの場合も行頭には付さなかつた。
- ⑥補記や訂記は本文に反映して翻刻した。
- ⑦翻刻に使用した各種記号が示す意味は次の通りである。
 - ・「□」→ 涅滅
 - ・「……」→ 本文に付された省略符号箇所
- ⑧引用文については、管見の範囲で確認し得た出典を（）内に割書で示した。

⑨写誤や脱字など、意味が通らない箇所が散見されるが、本翻刻では史料性に重点を置き、明らかな誤りと判断できた場合でも校訂はしなかつた。

⑩その他、特に必要な情報を示す場合、脚註に記した。

【本文】

〔二丁右〕

- 01 如來今者乃至功德等事 疑云如我者指上何文歟答指上我見是利也
- 02 □云自從是西方一至アミタ仏極樂國土一也円（『小經疏』、「大正藏」卷三七・三五五頁下）云舍利弗下三流通分文為
- 03 一二仏勸流通二衆喜会散初又三一諸仏同讚二結勸往生三奉
- 04 難勸信初又二明釈迦讚二顯諸仏同初如文東方下顯諸仏同……而各
- 05 有二叙彼仏現相表彰汝下二示彼仏發言勸信 又不思議者意
- 06 如何答上来機与法云不思議也 私云淨土依正也 東方亦有阿閦佛_{翻无動也}
- 07 等事 疑云已下六方仏者為限穢土仏為通淨土仏歟答穢土為本可通也
- 08 惠心略記（『大正藏』卷五七）云称讚十方皆云淨土文永觀要記云称讚經云住在各方自仏
- 09 淨土文ア閻仏經（卷上、『大正藏』卷一・七）云名无嗔恚在東方阿比羅提國文通讚（卷下、『大正藏』卷五二・七五頁中意）云此云无動文
- 10 元曉（元照『小經義疏』、「大正藏」卷三七・三六二頁下）云不動文大般若云須菩提問仏云何穢土說淨歟仏答約我淨也人惡見也取意恩（卷三七・三三六頁下）云所以先引東方者准西域法以東方為上天子正殿及以
- 12 臨朝皆面向東又東方陽之初故日行東為正之始故先擧東方也

△一丁左

- 01 阿閻禪仏者阿閻仏經云名无嗔恚在東方阿比羅提國法花云勸喜國須
 02 弥相仏者謂金容尊大狀類須弥須弥仏者謂儀相之甚山王須弥光
 03 光者謂光大如山王也妙音言声慈潤清徹於梵響也恒河沙者長阿
 04 含第十八云此闍浮提雪山北面頂上有香山四寶所成高廿由旬頂有龍
 05 池名阿耨達此云无熱池此池流出四阿東方象頭口中流出大河名恒
 06 河智度論云其河既深且廣其沙又細復多貞諦云此河出池已方一由
 07 旬滿中細沙与水同流東天竺地最近此河人多見故云引為喻問如來
 08 大人何以表信時乃舒舌耶答大論云仏同スルカ人間相法故也謂舒舌至鼻
 09 者必不虛語況覆大千得无害也然如來為証小事但舒舌覆面或至
 10 髮際若証大事即舒舌覆大千証微因著果恐人不信捨苦輪之要
 11 蹤登涅槃之木床イ選イ至其事不輕其証須大故覆三千世界也當信是稱讚
 12 等者稱即述其德讚即光其美心慮亦不測曰不可思言談所不及
 △二丁右
- 01 名不可議諸行隨積靡方念仏之功諸福雖多難儔此經之德故便恒
 02 河諸仏護持而不滅記憶以在心故言稱不可思議功德一切諸仏所護念經文
 03 同通贊卷下、『大止藏』卷三七、三四四頁中云經中說河沙為喻无熱惱池出四大河此河即一也由具五義一由沙妙イ
- 04 多二由世人共為福水入洗罪滅投死生天三雖經劫壞名字常在四
- 05 仏多近此宣說妙法五衆人共委故多為喻仍取初出池口方冊里河以

- 06 為喩「文戒度記」（『開持記』、『淨全』）云云心法師云此河從無熱惱池東面象口流出入于東海
- 07 其沙至細与水同流以手掬之則沙隨水去文用欽云此河長八千由旬広
- 08 四千由旬文一云自下第二引例証成結勸往生淨土之教所被機根有其三
- 09 品一上根之機初聞兩卷經生決定信二中根之機聞觀經時生決定信三
- 10 下根之機雖退二時難以信入是以今更為令彼信余仏為証又云問如為
- 11 婆羅門出舌相覆面今相光明何心乃三千國土答覆面髮際為小信
- 12 故今為般若婆羅蜜大事興故広長舌相覆三千大千國土仏以神力能令
- △二丁左)
- 01 一切皆見其相覆三千界案云般若事大弥陀功德亦復広大是以顯此
- 02 舌相 □ 尋云六方恒沙証誠者自土他土中舉何証誠歟答天台十疑第四
- 03 疑云……又アミタ經大无量壽経鼓音タラニ經等云釈迦仏說此經時有十方世界
- 04 恒沙諸仏舒其舌相遍覆三千世界証誠一切衆生念アミタ仏乘仏願大悲願
- 05 力故決定得生極樂世界當知アミタ仏与此世界偏有因縁文元照小經疏（『大正藏』卷三云五、『淨全』卷五下）
- 06 云各於其國者正当釈迦說此經時十方諸仏同時勸讚令信是經若拋仏
- 07 言无虛妄但由衆生障重信難故現舌相表示誠言文此等之釈當說此
- 08 経時者於此土為舍衛衆現舌相云歟元照釈末書戒度聞持記（『淨全』卷五下）云問各
- 09 於其國出舌所覆大千界誰化境答彼仏讚此即知此仏化境也文
- 10 観云明化証是冊八願中第十七願也此有二師一云引例証謂非我嘆彼仏
- 11 依正勸物往生亦六方諸仏皆悉勸發稱揚讚歎各從其土往生彼國

12 若爾何故現広長舌當信此經豈非現瑞訖言諸仏各於其土說此經時
△△△右△△△

01 現瑞說法何有不可二云現瑞訖謂十方仏恐畏衆生不信訖迦一仏所說即

02 共同心同時各出舌相遍覆三千世界說誠實言汝等衆生應信受訖

03 迦所說若爾此會大衆見聞彼事是義難知今試訖之發記影向必忘

04 見聞當機緣隨宜不定或仏神力故四衆俱見 尋云六方諸仏名義如何

05 答円 〔小経疏〔『大正藏』卷三七・三五五頁下〕〕 云阿閦轉此云無動不為二邊不動故……日月灯喻三智故名聞光者名

06 称普聞如意遍照肩表二智燄表照理須弥灯者須弥云妙高妙則三

07 智円融高則超過因位灯則喻三智之遍照也難俎者內証実相四魔不

08 能俎敗故網明者智網如網遍覆十方故達摩此云法也下連法幢持法

09 故存梵以異其文而此三名似表三諦法乃真空寂默可軌法幢則俗諦

10 照者可見持法則中道双持二辺雜色宝花嚴身者以万行因花嚴

11 仏果之体故娑羅此云堅固二信 〔小経略記、『大正藏』卷五七・六八〇頁中〕 云問於諸仏中何故說之答亦難知然諸仏

12 教皆由機宜此亦應爾或是擧有別德之仏如仏名經說諸仏名号受持

△△△左△△△

01 読誦現世安穩遠離諸難消滅諸罪未來畢竟得阿耨菩提彼第七卷

02 出六方仏 〔名數同今東方阿閦仏弥留幢仏〕 〔當今経須弥相仏弥留心是須弥大相与幢前訖異也此下准知之大

03 弥留仏弥留光仏真声仏南方日月灯仏大火聚仏 〔當大炎肩仏世間說肩名蘊々即聚義見俱舍

04 論此下称光仏弥留灯仏无边精進仏西方アミタ仏多有同名アミタ仏アミタ幢仏アミタ

- 05 高仏_{幢仏}_{當無量}大火光明仏大照仏寶幢仏香聚仏_{今經云}北方大火光
- 06 炎聚仏大声仏難勝仏日成就仏羅網光仏下方師子仏称仏_{當名}威
- 07 德仏_{今經云}法仏_{光仏}_{當達磨仏}_{名云}達磨_{云法}法幢仏法住持仏上方梵声仏星宿王仏香上
- 08 仏香光仏大炎聚仏寶種々花敷身仏堅王仏_{娑羅樹王仏}_{當娑羅此云堅固}寶蓮花
- 09 勝仏見一切義仏須弥劫仏_{云々}当知釈尊數_{シハハ}說此諸仏勸進衆生非是少
- 10 縁也 疑云准諸仏讚嘆者出釈迦広長舌相等歟答爾也一云若爾何故我
- 11 釈迦仏讚ミタ徳不顯舌相答聞機不定或有由舌相信或有引諸身仏為
- 12 証故信隨機宜故如是不定言當信是稱讚不可思議功德等者一々方仏
- 〈四丁右〉
- 01 皆劔物是信稱讚弥陀不思議功德アミタ経一々方仏所說アミタ経皆一切仏之
- 02 所護念明西方中言无量寿仏者正非今所讚但号同耳然未言知今此
- 03 所讚以彼仏那為近在耶然此能讚无量寿仏慮是穢土觀云問曰諸
- 04 皆現舌相讚ミタ徳何故釈迦不現此相是義難解但現瑞說法多隨機宜
- 05 耳何必一切皆悉齊等現復此經略去別序瑞相有无暗以難知信（『小經略記』、『大正藏』卷五七・六八〇頁中）云問
- 06 言六方者望何處指答聖旨難測且解云案經文意顯如極樂亦有諸
- 07 仏土但顧如我說他方亦同說望娑婆心指諸方或云彼仏本願為諸仏讚
- 08 故非唯望娑婆國土娑婆極樂相去不遠望恒沙界猶如一處望此一處指恒
- 09 沙刹 汝等衆生_乃至所護念經等事 疑云汝等衆生者為他方所化為此會
- 10 所化歟答此土所化也通贊疏（卷下、『大正藏』卷三）云問汝等者為是六方諸仏告語自國聽

11 徒為當釈迦勸誠祇園之衆答視此經勢而有二意一他方諸仏告自國聽

12 衆一釈迦轉引彼仏意言証彼西方令一會衆生信敬也文円（『小經疏』、『大正藏』卷三七・三五五頁下）云稱讚至

〈四丁左〉

01 仏所護念是此經別名也……稱讚不思議功德即釈迦說ミタ之依正一切

02 諸仏所護念頭十方諸仏咸隨喜護故使天魔不能燒亂念故令信者

03 不退菩提觀云汝等衆生等者第七明勸進若爾此文為彼仏勸為此仏

04 勸稱讚經云及十方面諸仏世尊為欲方便利益安樂諸有情故各住本土

05 現大神變發誠諦言勸諸有情信受此法已天台（『小經義記』、『大正藏』卷三七・三〇七頁上）云六方諸仏皆悉勸

06 發稱揚讚嘆恒河沙數仏各於其土往生彼國已明知此文彼仏勸進

07 有云此文未必指一々方勸信文義記亦爾故六文是今仏觀今云若非指一々

08 方何云六方義記釈炳然勿曲会私情見又護与念有何別歟答念意

09 地也護身業也

尋云經云舍利弗如我今云者讚歎スルカアミタ仏不可思議功德一
此十八字可亘已東方亦有阿閦……妙音仏如是等恒河沙數諸仏（此頭他方各於其

10 下五方總標云故東方亦有阿閦……妙音仏如是等恒河沙數諸仏（此頭他方各於其

11 国出広長舌相一覆三千大千世界（此今經說時他方說誠實言ニハ此表他方諸仏汝

12 等衆生當信（此舍衛說場衆云是稱讚不可思議功德此ミタ依正利一切諸仏

〈五丁右〉

01 所護念經（此諸仏正詮識文点并意如何答文点如付右点今師意左占諸師意之如注一

02 総經文幽故諸師異解謂或云下口仏舌相為各々自土衆云出之上或云下從

03 他方為舍利衛同聞衆覆此娑婆証中誠釈尊所說上今師意自他方覆此娑婆

- 04 粥也謂玄義（「玄義分」、「大正藏」卷三七・二五〇頁上）云諸仏各出舌相一遍三千世界說誠實言汝等衆皆應信是一切
- 05 諸仏所護念經文定善義（「大正藏」卷三七・二六八頁上）云又十方恒沙諸仏証誠不虛文散善義（「大正藏」卷二七二・二七二頁上）云又十方
- 06 仏等恐衆生不信糺迦一仏說共同心同時舌相覆三千應信是糺迦所說
- 07 所讚所証文（永觀助禮讚（「大正藏」卷四七）云云何名護念若有衆生称念アミタ仏若七日及一日
成之（「大正藏」卷四八・四四八頁上）下至十声乃至一声一念等必得往生証誠此事故名護念經云
八 大觀念法門（「大正藏」卷四八・二七八頁上）云
- 08 如上六方等諸仏舒舌一定為凡夫作証罪滅得生若不依此証得生者六方諸仏
- 09 舒舌一出口已後終不還入口自然壞爛文今法事讚（「大正藏」卷四七・四三三頁下）云為斷凡夫疑見執皆舒
- 10 舌相覆三千共証七日称名号又表糺迦言說真文又（「法事讚」卷下、「大正藏」卷四七・四三四頁中）云皆舒舌相証尼……
- 11 又（「法事讚」卷下、「大正藏」卷二二一・三五〇頁上）云迦出五濁……文上来所引文相分明哉（「稱讚經」、「大正藏」卷二二一・三五〇頁上）云無量無邊不可思議仏土功德
- 12 如是
- （五丁左）
- 01 東方亦有現在不動如來……妙幢如來如等仏如號伽沙住在東方自仏淨土
- 02 各々示現廣長舌相遍覆三千大千世界周市開達說誠諦言汝等有
- 03 情皆應信受如是稱讚不可思議仏土功德一切諸仏攝受法門文私云經云自
- 04 仏淨土者從他方淨土出長舌相覆此娑婆云事歟
又周市周市開達者何
- 05 物置中周市開達哉今云糺尊為中失號沙諸仏周市之歟是以群疑
- 06 論（「大正藏」卷四七・三九貞中）引稱讚經証誠畢觀相聽言也又經說十方段畢文又（「稱讚經」、「大正藏」卷二二一・三五一頁上）舍利子何
- 07 緣此經名為稱讚不可思議仏土功德一切諸仏攝受法門舍利子由此經中
- 08 称揚讚嘆无量壽仏極樂世界不可思議仏土功德及十方面諸仏世尊為

- 09 欲方利益安樂諸有情故各住本土現大神變發誠諦言勸諸有
10 情信受此法是故此經名為讚……攝受法門文 私云故云各住本土者為
11 現大神變歟現大神變者自仏淨土出廣長舌相覆祇園空中歟
12 永觀小經疏引善導积畢云仏神力故四衆共見者指称讚經觀大神
- 〔六丁右（七丁右）〕
- 01 変歟 釈迦如來乃至覺尊等事 疑云釈迦讚諸仏者指何文歟答六方段
02 即其義也 共証七日乃至言說真等事 疑云指何文云共証歟答指六方段也
03 又七日称名与釈迦言說通為所說歟答爾也 心性明於乃至法爾常等事
04 惠明了也ト云也 又法爾常之義如何答極樂聖衆悲智双行住蓮也云也
05 我今既到天為處等事 疑云我者誰人歟答願往生者也 邪貪等事
06 尋云何等歟答惡欲強奪等也正貪可理蓮之得分也 教令出世及生真等事
07 疑云及生真之意如何答未知若悞歟 又或本云反生嗔何為正歟答□□
08 嘴可為正歟 西方世界有无量寿仏等事 疑云指極樂世界アミタ如來歟
09 答不爾三千仏名經□云无量寿仏々說処々也元照（『小經義疏』、『大正藏』卷三七・三六二頁下）云問初无量寿即ミタ
10 若勸讚於義非便答同名甚衆必非極樂法藏之ミタ也文禪林疏云問曰
11 无量寿者為今所說極樂化主有云多有同名アミタ仏文稱讚經（『大正藏』卷二二）云无量
12 寿如來无量蘊如來无量光如來无量憶如來文
- 〔六丁左（七丁左）〕
- 01 通贊疏第一（卷下、『大正藏』卷三七・三四五頁上）云无量寿者即西方本尊依一義得名如前之解問儒宗尚

- 02 无自代善何故ミタ自讚難思答拠其文勢即是諸仏称讚又般若ミタ
- 03 自讚猶理何違引転衆生令生勝意玄二云明西方中言无量寿仏者正
- 04 非今所讚但号同耳然未定知今所讚以彼仏那近在耶然此能讚无
- 05 量寿仏応是穢土文 分身百億闇浮内等事 疑云分身百億義□經
- 06 不見如何答依余經意也梵網經（卷下、『大正藏』卷二十四、一〇〇三頁下）云我今ルサナ方坐蓮花台周□□
- 07 花上復現千积迦一花百億国一国一积迦各坐菩提樹一時成仏道ルサナ
- 08 本身文本經在无勝土云入大乘論第四云摩醯修羅智所成道
- 09 報身也出百億國作仏事云化身云々 示現八相乃至將謂寒等事 疑云對何實
- 10 義以八相等為不実歟答以報身成仏為實成故八相其應用云事歟
- 11 西資鈔云八相者一下兜率二詫三降生四踰城五降魔六成道七說法八
- 12 涅槃文小乘サハタ等意思實義也梵網入大乘論等說不実
- 〈七丁右（一〇丁右）〉
- 01 前思却慮更生疑等事 疑云前与却之意如何答猶預義也 尋云今
- 02 経云六方異訛経云十方相違如何□慈恩述讚云依称讚淨土經広引十方
- 03 此經略少文円測元照同之一尋云六方者望何處歟 答惠心略記（『大正藏』卷五七六八〇頁中）云問言六
- 04 方者望何處指答聖旨難測且解云案經文意非顕下如極樂亦有諸仏土上
- 05 但顕下如我說他方亦同說上故望娑婆応指諸方或云彼仏本願為諸仏讚
- 06 故非唯望娑婆國土娑婆極樂相去不遠望恒沙界猶如一處望□□處指
- 07 恒沙刹文災障禍橫將弥多等事 疑云禍橫者何等歟答禍橫□也

- 08 連年臥病於床枕等事 疑云文点并意如何答如上意云顯也
- 09 轉盲 トシテ 脚折シヨレ 手攀シム 撹ケツ 等事 疑云文点并意如何答如上意云顯也 承力神
- 10 明得此報等事 疑云不論権実実者不可承事歟答不爾 又神明者意如何
- 11 答愈有得通 三世不勝「云明」也不計陰陽「云神也」 又上来六段解釈各隨方有
- 12 其由歟答不爾 又所舉六方者望何處歟答且從釈迦世一也如上所引略
- 〔七丁左（二〇丁左）〕
- 01 記也 一切諸仏所護念經等事 疑云護念者能所差別如何答肇公義疏云
- 02 善男子者所護念人アミタ仏及六方恒沙諸仏是能護念人也文通贊同之
- 03 照（『小經義疏』、『大正藏』卷三七・二六三頁上） 云次得益中諸仏護念直至菩提護謂覆護不使魔燒念謂記念不令
- 04 退失勢至章云十方如來憐念衆生如母憶子大論云辟如魚母若不念子々即
- 05 壞爛等 聞是諸仏所說名及經名者等事 疑云所說名者為六方諸仏名号
- 06 為ミタ号歟答人師多釈諸仏名今師意ミタ名歟釈念仏誦經除罪障（『法事讚』卷下、『大正藏』四七・四三五頁上）
- 07 惠心略記（『大正藏』卷五七） 云有本云若有善男子善女人聞是經受持者及聞諸仏名者是
- 08 諸善男子女人皆為一切諸仏之所護念上文 又經名者指何處歟答故指上
- 09 来依正發願起行歟此即指一經也肇公義疏云善男子聞是經及諸仏名皆
- 10 不退无上道心是故舍利弗汝等皆當信受我語及諸仏所說文諸師同之
- 11 是諸善男子……三菩提等事 疑云□但聞得不退歟答不爾 又所言不退者
- 12 為此土得益為彼土得益也惠心略記（『大正藏』卷五七） 云言利益者聞仏



〈八丁右（六丁右）〉

- 01 名及経名者有三益一現為諸仏護一現得不退転三當得大菩提文迦才今
02 不退転別時意也 是故舍利□等皆當信受我語及諸仏所說等事
03 尋云今此文者指上何文二云我語及諸仏所說歟答肇云次転結勸也是故者
04 結上之辭汝等皆當者勸励之語汝當信我上來所說及六方諸仏之言恩同之
05 照（『小經義疏』、『大正藏』）云是故下三勸信々我語者謂信教也如不信我十方諸仏豈虛妄乎信
06 次勸信者此有傍正々勸信受ミタ及經傍亦通余信我語故當信諸仏名
07 信諸仏說故當信我名信我名者至下當知 私云至下當知者転五濁義畢歟言傍
08 謂仏都意專在利生 我亦在德不可默止然如來寶或不許自讚故寄
09 諸仏（顯諸仏顯德利生）此亦有二二名字利益如鷲嶺經云若聞転迦牟尼
10 如來名號雖未發心已是菩薩寶雨經云東方蓮花世界蓮花眼告止蓋菩薩
11 言西方有世界為娑婆其國有仏名転迦牟尼若諸有情聞彼仏名於阿耨
12 菩提得不退転由彼如來本願力故於中設有未得不退由聞仏名必定當

〈八丁左（六丁左）〉

- 01 成阿毘跋致是故亦名アヒハチ文也故為令得聞名之益帖シテノ自名号一言転迦
02 駁尼仏二教門利益如法花經云聲聞若菩薩聞我所說法乃至於一偈皆成
03 仏無疑故為令得法之益帖教如文教有傍正々取今教傍取諸教……文
04 若有人已發願……三□□等事疑云唯發願者何得不退転之益歟答不爾
05 但今舉發願之功也非云有願無行也但信（『小經略記』、『大正藏』）云由一發願必得往生設經生

- 06 死終不虛也辟如小許金剛墮於地上即能穿入其地雖厚不能留□
- 07 決至本際方乃當住誠心發願理亦念然觀云今由唯發願□得生者
- 08 今又略也故稱讚云如諸行者一切定於阿耨菩提得不退転一切定生極樂世
- 09 界上已又撰論云由唯發願便得往生安樂世界是別時意上已若爾復由唯
- 10 有行往生淨土亦別時意上已円（『小經疏』、『大正藏』卷三七・三五六頁上）云又二一舉願願益若已生等者過去已發願
- 11 者已生現在今發願者今生未□當發願者當生是故下二約結勸仏法
- 12 大海信為能入智為能度故尋云願行具足往生上已說畢云如等皆當
- （九丁右（八丁右））
- 01 信受我語及諸仏所說今又始至若有人已發願等明知上說願行具足
- 02 順次往生畢至此文者說別時利益歟以是瑜伽論（卷七九・七三七頁上意）云菩薩教中異生凡夫非
- 03 異生二乘生淨土者密意趣等撰大乘論（法陀羅多記卷上、『大正』卷三一・一〇三頁中）云如无量壽經說若有衆生願
- 04 取无量壽世界即生爾此二論共釈別時意文也而云无量壽經者此即
- 05 菩薩教也故當今已發願等歟然則迦才淨土論以今已發願等之文釈別時
- 06 意趣若爾此難如何一云会哉惠心答所引文實當所貴但方論文亦約報
- 07 土辺歟撰論文亦且設雖遂順次往生約願行前後之辺歟雖文幽約□
- 08 理釈成義事常習也又是以有諸師不云別時意如此料簡此即說辺々也
- 09 □先達可尋之尋云聞是諸仏所說名及経名諸文点并意如何答文点
- 10 如付意云右点依今師意□仏為能說ミタヲ為所說也次下釈念仏誦経除
- 11 罪障諸仏過加護念力故処々称ミタ名諸仏所護念釈故左点依諸師

12 意釈尊^ヲ為能說「諸仏為所說」歟釈聞六方諸仏名号「諸仏所護念」故
〈九丁左（八丁左）〉

01 於彼國土_{至若}當生等事 疑云上不退転今往生為同為異歟答意同也惠心

02 略記（『大正藏』卷五七）云所言益者一現不退益_ニ近果往生益_ニ遠果菩提益此中亦應有護

03 念益文 念仏誦經除罪障等事 疑云此得意并釈經何文歟答及経

04 名釈誦經「共所護念釈遙加護念」也意云経所說名者指執持名号_ニ及経指一

05 切諸仏所護念経此則總指一経也釈念仏者亦指執持名号_ニ即今所說釈

06 也誦經者總指一経即今所護念経也 持心不散_{乃至}變作紫金台等□

07 疑云持心不散者安心起行中何歟答起行也_上強發願安心故又強發願

08 者亦釈上応當發願也持心不散者釈上一心不亂也 又仏与花台主有

09 何別歟答仏即主也 又變作者意如何答來迎儀式也 是故舍利弗

10 諸善男子……願生彼國等事 尋云願行相應修行成就_{ナハ}修因感果智_ノ□

11 可往生歟何必勸發願歟答測云結勸生信問何須發願解云如智度論

12 第七卷問菩薩何故仰作願如人種繫亦不須願自得實果益作福無願无所
△○丁右（一二丁右）

01 願无所成立願為導御能有所成辟如補金隨師所作金无定量也如仏

02 所說有人修少施福修少戒福不知禪法門人中有富樂人心當念者願樂

03 不捨命終之後生富樂人中復有人……各生其中此皆願力所得菩薩亦

04 復如此……復次莊嚴淨土事大獨行功德不能成故要須願行辟如牛雖有

- 05 挽車力要須御者能有所至淨國土願亦復如是福德如牛願如御者如已下要
- 06 集觀云次勸願也若爾由自願力亦可生余淨土何故唯勸極樂積言極
引觀云次勸願也若爾由自願力亦可生余淨土何故唯勸極樂積言極
- 07 樂自他二願相應謂自願為因願為緣因緣和合是故偏勸於余仏土□□
- 08 必然故々不勸進具如十因今師意自下流通分歟 如我今者乃至不可思議功
09 德等事 疑云上来經中无称讚諸仏文如何答指六方段也肇云次此讚彼
- 10 六方諸仏能為衆生作真美証衆生因此心得无疑如來大慈偏讚彼仏々々復
- 11 讚於我曉 （小經疏）、（大正藏）卷三七・三五〇頁中 云如我今者以下是第四文於中有三先已讚他讚已其第三
- 12 者結勸嘆信一上來三分正說文竟円測疏諸仏互讚令衆生信等事
- △○丁左（一二丁左）
- 01 有二初明 □讚諸仏後明諸仏讚此仏即初也林云問曰前說釋迦唯讚
- 02 ミタ功德今云何言諸仏功德故稱讚經云稱揚讚嘆無量壽仏涌者不論歎說歎
- 03 同伝親異然什公善解泰言妙得經旨前後極樂依正功德是故唯是讚
- 04 嘆ミタ次六方段具說諸仏長舌瑞相次復聞諸仏名得不退転故此文云称
- 05 讚諸仏略本經文豈是非功文 又今家意以何文段為流通歟答今文段已
- 06 下也若准觀經正宗內也慈藏記云法相宗唐士人師也舍利弗如我下大段第三流 □
- 07 分但有信受流通無其附屬流通如似前序唯有証信而無發起略說
- 08 経故且如是耳文 釈迦牟尼仏等事 疑云漢語何翻之歟答慈恩疏（小經疏）、（大正藏）卷三七・三二七頁下 云自誓
- 09 三昧經云釈迦牟尼者此云為滿足又釈迦者此云能忍十二因緣經云牟尼者名仁イ 10 為寂滅 亦名无分別過去因果經云謂身口意滿足即能証寂滅涅槃能証无

11 分別智「能令身口意功德滿足故文或翻能寂」

糺迦牟尼仏能為甚難希

12 有之事等事 尋云希有難事者何等歟答照

『小經義疏』、『大正藏』(卷三七・三六三頁中)

云糺迦翻能仁即大慈垂応

△一丁右 (二二丁右) △

01 牽尼翻寂默即妙智冥真合此仏則三身備

○他不能為故甚難舉世

02 未見故希有下列二難於此惡世 □行成仏一難也為諸衆生說此法門二難也

03 能於娑婆五濁惡世等事 尋云娑婆何翻之歟答測云此即第一指事広讚娑

04 婆國土此云雜器世界稱讚經云能忍世界円 (『小經疏』、『大正藏』卷三七・三五五頁下・三五六頁上) 云舍利弗下三擧難勸信……糺

05 駁翻能忍 牽尼翻寂默能仁則大悲応物寂默則大智冥理能為甚難

06 希有之事者一於五濁得菩提調伏若二為衆生說難信法娑婆 □堪忍以衆

07 生堪任忍受三毒故照 (『小經義疏』、『大正藏』卷三七・三六三頁中) 云娑婆亦云索訶此翻忍悲花經云是諸衆生忍 □

08 三毒及諸煩惱故准仏刹經有二義初義同上三云彼有菩薩乘 □成就 □ □ □

09 護有情善自調伏若人加害悉能含忍終不放逸故云堪忍 尋云五濁名義

10 如何答照 (『小經義疏』、『大正藏』卷三七・三六三頁中) 云五濁亦云五滓又言惡者謂能貪造十惡業故劫者梵云劫波此翻

11 時分下之四濁聚在此時從滅劫人寿三万歲時即入劫濁見者身見 □見

12 邪見戒取見取五利使也煩惱者貪嗔痴慢疑五鉢使也衆生者攬陰為

△一丁左 (二二丁左) △

01 人仮名衆生命者刹那生滅催年促壽觀云言濁者是不情義辟

02 如濁水不知見物衆生心濁不見淨土故名濁也法花玄云所言五者煩惱與見

03 此正是濁此一所成名衆生濁即此衆生速持之命名為命濁此四種時謂

論歎

- 04 劫濁也問曰何故五濁之中不說業濁法花疏云毘尼母經云亦說業濁設於
05 見濁屬煩惱濁今明即衆生濁是業濁也所以然者既有煩惱即起身口意
06 惑業故名業濁何以知然若但意地有諸煩惱不起身口業非惡衆生不□□
07 生濁也故知衆生即是業濁已又損論中明三種濁謂或業苦又薩遮
- 08 尼犍子經有十二濁一示現劫謂二々々時濁三々々衆生濁四々々煩惱濁五々々命
09 濁六々々三乘差別濁七々々不淨國土濁八々々衆難化衆生濁九々々說種々
10 煩惱濁十々々外道亂濁十一々々魔濁十二々々魔業濁也
- 11 為諸衆生乃難信之法等事至難生疑云指上何法門云難信之法歟答一日七日念佛三昧也
- 12 円『小経疏』、『大正藏』卷三七・三五六・八頁上云說是難信之法者說一日執持名号命終即生極樂而不退菩提以茲少
△二丁右（九丁右）
- 01 善獲此大利是為難信也然則凡夫賢聖等无高下心淨土淨超越須臾
- 02 若生極樂甚易可信但為迷深執重聞而不受故云難信耳舍利弗下二結
03 不虛是為甚難者五濁行難行之行而得菩提其事已難復說此難信之信二事
04 兼作是甚難也諸仏讚我豈虛言哉仏說下二衆喜会散……聞所未聞
- 05 故勸喜信受量法尊師故作禮而去慈恩疏『小経疏』、『大正藏』卷三七・三八頁中云一日乃至七日念佛即拔玄
06 沢高昇淨境微因著果俗情難信人恐如來引損之語故云難信之法文肇同
- 07 ミタ經新疏下云仁難信之法者有二淨土依正莊嚴難信二凡夫往生因□
08 難信文口云先指一經云難信次指念佛云難信也又上甚難希有与此□信之
09 法同異如何答異也上付教主舉出者說法之難事今付所說舉濁世衆生之難

10 信也 私云同也 又何故名難信之法歟答以一日七日修因 凡夫得不退此即對聖

11 道斷或証理也謂小乘意明斷見思二或出三顯大乘意說經一萬劫得不退也

12 智円疏（『小経疏』、『大正藏』卷三七・三五六頁上）云說一日執持名号命終即生極樂而得不退菩提以茲小善獲此利益

△一二丁左（九丁左）

01 為難信也文觀云有疏云一切世間難信法者謂一日乃至七日……故云難信之法已

指上所引慈

02 恩疏□云アミタ名無量無邊不可思議劫合成乃至一念成就具足无上功德

03 往生淨土諸菩薩中勝□諸仏舌相証明而不知此理近代謂穢土人天當戒善

04 力或修禪力是但称仏名得生淨土畢故云難信 舍利弗當知……是為甚難等事

05 尋云是為甚難者指上何文歟答肇云次第此序甚難有由我於五□者

06 叙出穢方得菩提者叙証勝果為一切世間說難信法者叙伝秘術是為甚

07 難者結上三事難信恩同之照（『小經義疏』、『大正藏』卷三七・三六三頁下）云第二難中念仏法門不簡愚智不擇高

08 賤不論久近不選善惡唯取決誓猛信臨終惡相十念往生此乃具縛凡

09 愚屠沽下類剎那超越成仏之法可謂一切世間甚難信也信（『小經略記』、『大正藏』卷五七・六八二頁下）云経曰舍利弗

10 至此為甚難者第五總結成勸進言總結者從ミタ依正稱說^{セイ}積迦皆此中結

11 故名為總觀云舍利弗當知下第四自結成述諸仏讚言遠結成往生願行也

12 无数劫中仏出世難設雖出世惡世難設出惡世說此法難故云甚難無量

△二三丁右

01 生中受人身難設受人身值此經難設值此經信心亦難故云甚難適愚

02 此等緣豈不信行哉稱讚經云若□男子若善女人聞說如是極難信法

- 03 能生信解如教修行當知是人无量仏所曾種善根是人命終定生極樂
- 04 仏說此經已……歡喜信受作礼而去等事 尋云諸師意自下流通分歟答多
- 05 分爾也肇云次第流通分即依教奉行次釈仏說經已者結集也所叙說
- 06 已備聞仏說歡喜頂受台（『小經義記』、『大正藏』卷三七・三〇七頁中）云仏說此經已即流通段曉（『小經疏』、『大正藏』卷三七・二六三頁下）云第三流通分正說既終衆喜受持展轉傍布偏於四
- 07 通分測云聖人說法非直聖衆教化治後代末世第三明流通分亦名
- 08 依教奉行分照（『小經義疏』、『大正藏』卷三七・二六三頁下）云第三流通分正說既終衆喜受持展轉傍布偏於四
- 09 海垂於万世故且衆散以為流通信（『小經略記』、『大正藏』卷五七・六八三頁中）云仏說此經已下流通分觀云仏說此
- 10 経已下大段流通分也經宗所量文別有二初明流通人无菩薩者准前序
- 11 分舉初後衆略去中人後明流通相既信受聖旨豈不弘通乎
- 12 尋云一切世間等者意如何答肇云一切世間者部類非一故云世間天者名灯
- 13 三三丁左
- 01 明亦名光明云天又吉祥能多恩義能除黑闇而為大明故名天人者本
- 02 言能多恩義慈心不殺故名人阿修羅等大法炬經云阿修羅名非天彼非天
- 03 故名阿修羅等者略而不論恩（『小經疏』、『大正藏』卷三七・三三八頁中一下）云一切世間者事物非一故言一切大集日藏
- 04 経世間有二一衆生世間謂六趣之類二器世間謂三界即卅二屋止所衆生世
- 05 間謂有漏五隱云何名世間雜阿含云危脆敗壞故名世間也涅槃經云天名
- 06 灯明亦曰光々明々能除黑闇而為大明故名天又吉祥故名天能多恩□□
- 07 名人有本言能多恩義故名人大法炬經曰阿修羅名非天彼非天故名阿修羅
- 08 漢者即應等取金翅鳥緊那羅乾闥婆等略而不說也照（『小經疏』、『大正藏』卷三七・三六三頁下）云一切世間總

- 09 枚四部別奉二趣以決序文阿修羅此翻非天非天受樂如天懷詣同鬼
- 10 從行為名信（『小經略記』、『大正藏』卷五七・六八三頁下）云世間常護助流通也 尋云歡喜信受等者心品分齊如何答
- 11 肇云歡喜者心歡体悅故云歡□那耶山頂論云具三清净名為歡
- 12 喜一能說清淨謂仏是一切智人為衆生盡說頓說无量深妙廣法二
- △四丁右）
- 01 所說々々謂聽聞之徒陳而誠信不生輕謗三其土々々聞仏所說故名歡法
- 02 喜信受聞無修行為信余法在□為受故言歡喜信受作禮而去者聽受
- 03 既畢各歸所方台（『小經義記』、『大正藏』卷三二七・三〇七頁中）云說既竟四衆天人修羅等類歡喜信受聖至難遇
- 04 若優曇花慶今得見正法難聞而今日聞昔所未悟而今得聞昔所未悟
- 05 而今得悟其此三喜是故欣悅得之於懷踊躍无量也恩（『小經疏』、『大正藏』卷三二七・三三八頁下）云歡喜者心歡体
- 06 悅故言歡喜即十地論言心善體喜也又伽耶山頂經論云具三清净名為
- 07 欢喜一能說者清淨謂仏是一切智人普為衆生盡藏法之垢二所說清淨謂
- 08 理教相應隨順莫逆一句義美妙依之出離三受者清淨謂聽法之徒慶
- 09 三成信不生輕謗□茲三義故言歡喜又顏敘曰歡神悅曰喜聞之不謗稱
- 10 信領之在心為受故言歡喜信受照（『小經義疏』、『大正藏』卷三二七・三六三頁下）云歡喜則出離有門信受乃憶持修
- 11 習得法開懷仰恩荷德傾誠展敬志願流通信（『小經略記』、『大正藏』卷五七・六八三頁中一下）云仏說此經已下流通
- 12 分文有□一結前生後初五字是也二聞法奉行人舍利弗等是也三奉行相
- △四丁左）
- 01 欢喜信受□是也此中亦應有菩薩衆文略不列案其意云証信須尊德

- 02 故序不広雜衆高位非初信故此無菩薩互得顯示非是闕欠故称讚
- 03 経真舉菩薩也流通文雖少流通心不少衆会悉信受何不順聖旨
- 04 彼智惠深利者皆相從舍利弗神通大力者皆相從目連其余尊者
- 05 各有所掌曉衆如渴飲須広沾妙道迦葉阿難伝持心遠羅云頭
- 06 盧守護心至八万歳八万歳況復文殊是三世諸仏之智母十方仏土口
- 07 法之首弥勒是諸仏長當來道師乃至常精進為一切衆生不請之友何
- 08 時何處得不弘通乃至天龍八部福力自在王領世間者常護助流通也
- 09 如余二千年未適聞此經作今願當生者豈亦非彼力乎文
- 10 无明頑硬似高峰等事 疑云五濁之中明何濁相歟答總舉五濁体也无
- 11 明者法頑硬者喻也又不限五濁或說六濁七濁十濁事 憶濁遍過
- 12 麋數等事 疑云遍滿者遍何物歟答煩惱也衆生也 命濁中刹那間等事
- △五丁右
- 01 疑云中 天者文点并意如何答如上意云識百歲異熟果六七十死等也又人
- 02 寿百歲時節異熟果六十七十 中夭也俱舍頌十一（大正藏卷一）云北州定千年西東
- 03 半々減此州寿不定後十初回量文俱舍論十二（大正藏卷二）云謂住都史多天一生所繫
- 04 菩薩及最後身菩薩輪王母懷彼二胎時此等如應皆无文云二者仏与王也
- 05 依正二報同時滅等事 疑云何濁之損歟答命濁損滅 又滅之義如何答損滅
- 06 義也或本云減也 背正歸邪橫起怨等事 疑云橫起怨之義如何答損滅

- 07 潑過^一也 □云見澁也 九十五種乃至獨清閑等事 疑云九十五種者何等歟答觀
- 08 經記 (『淨全』卷五・聽) 云九十五種者除仏一人外道六師十五弟子合成九十六仏初會事外
- 09 道為弟子知其非究竟文 又汚世者何等歟答外道法也 又清閑之意如何答
- 10 仏法也 還來火宅等事 疑云自何處還來歟答自到菩提^一還來也
- 11 隨宜方便化群生等事 疑云指二門教法共云方便等歟答爾也 或現多聞乃至
- 12 証三明等事 疑云多聞并小解者何等歟答菩薩所學云多聞二乘所學云小解也
- △五丁左)
- 01 亦多聞限大乘 小解且大小事^{アリ} 或教福患乃至思量等事 疑云福患者
- 02 何等歟答六度也 又福惠之外指何物云禪念歟答同前五ハラ蜜内^{トモ}為對
- 03 定思^一開出也 又禪念与思量有何別歟答同也 懇懃付屬ミタ名等事
- 04 疑云付屬名号之義經不見如何答舍利弗如我已下得流通 分□見也
- 05 見有修行^乃競生怨等事 疑云方便破壞之義不見如何答依十往生經意也
- 06 又別時意趣等乃至禪宗理觀等也又正相家等意歟 高座乃至總懺悔云等事
- 07 疑云上卷中重々懺悔一云今又修十法有何歟答先至懺悔為身器清淨為
- 08 修行法 懺悔今又行法二云懺悔余殘過^一也 又大衆者指何大衆歟答召請
- 09 和讚聽衆等也 冥空幽顯得道聖人等事 疑云冥空并幽顯者何等歟
- 10 答冥空者冥從空^一來也幽顯者非顯露^一故也 自從无身有身无識有識
- 11 等事 疑云无身者何等歟答指迷真之初^一也无身无識者指悟^一有身有
- 12 識者指生色心^一云迷^一也 私云无身者指无色界无識者指无心定歟有

△六丁右)

- 01 識者有心衆生也有心者欲色界也 又指何時□已來歟答本覺流伝セシ元
- 02 初一念ヨリ已來也 殺害劫奪乃至畜生衆生等事 疑云殺害地獄衆生之義
- 03 如何答広殺六道衆生云也 又地獄与畜生合舉有何由歟答六道三合時
- 04 一地獄畜生二修羅餓鬼三人天等也 逼掠カズム一切畜生等事 疑云文点如何
- 05 答如上 又何不舉地獄歟答今舉非地獄略修羅天無別由歟
- 06 常作无間等事 疑云常作与上相続作同異如何答同也又異也 或起邪貪
- 07 祉貪等事 疑云邪与罪有何別歟答邪々見也惡十惡也智論廿四（大智度論卷三五・三二二頁下正）云貪欲
- 08 有一種一者邪貪欲二者貪欲嗔恚有二種一者邪見嗔恚二者嗔恚□□
- 09 有二種一者邪見愚痴二者愚痴是三種邪毒衆生難可化度余三易度
- 10 无三毒名者无三邪毒之名文 或因意業造作身業十惡之罪等事 疑云
- 11 以身業何作十惡歟答以身業作十惡中三作十惡云也隨一故也
- 12 此十惡即摂一切惡盡等事 疑云十惡罪何摂一切罪歟答除破戒罪余業
- △六丁左)
- 01 罪皆可摂□惡也大論意云雖有无量罪不出十惡取意 六道周ヘ障カナシフ競出門
- 02 等事 疑云文点如何答如上輩トセ云也惆トセ又出門者何等歟答塵勞門也
- 03 告當心眼前等事 疑云意如何答ハ知根中拳初後二根也
- 04 棄々欲レ出還廻去等事 疑云文点并意如何答如上意云塵勞多云棄々也

- 05 為箇^(ニコ)无明^(ニ)悞^(レ)殺人等事 尋云意如何答无明所犯^(ニ)云也 貪財愛色无厭
- 06 足等事 疑云財与色有何別歟答財々貪色姪貪也 虛花幻惑詐相親
- 07 等事 疑云虛花者何等歟答上財色如虛花^(ニ)云也 又幻惑者意如何答虛
- 08 花同也 又相親義如何答如虛花^(ニ)而相親也 財尽色落^(ナゼ)相嫌恨等事
- 09 疑云意如何答財尽者所貪境散壞也 嫌恨者能受用心嫌恨也 須臾^(コトハリ)義
- 10 斷^(レハ)若屠怨等事 疑云意如何答所愛境而能愛心^(ニ)義斷云也能所義断^(レハ)生嗔恚^(ニ)
- 11 □怨^(ニ)云也 净土因成自然到等事 疑云自然者意如何答任運往^(ト)云也
- 12 香煙所住ミタ仏等事 疑云香煙置云注歟答爾也来迎仏奉香煙^(ニ)也
- △七丁右)
- 01 到彼无真復等事 疑云此句二字不足也如何答脱落歟故可云到彼无
- 02 殊真復真^(ニ)也般舟讚<sup>(『大正藏』卷四七)
〔四四九頁下〕</sup>云新往土化生紫金色与諸大衆无殊異文 私^(ニ)云或
- 03 本云到彼无漏真復真文 為他破壞還如故等事 疑云他者誰人歟答
- 04 別時意趣等也 非是今生始自悟等事 疑云自悟之義如何答希義也此
- 05 即自然義也 正由不遇好強縁等事 尋云好強縁者何等歟答発得
- 06 二心分也意云雖值往生強縁不相忘教^(ニ)故如不值^(ニ)云也 今日今時聞要法等事
- 07 疑云要法者何等歟答淨土教門也 欲使衆歸入正門等事 疑云正門者何等歟
- 08 答八万四千門中極樂云正門^(ニ)也 究竟^(シテ)解脱^(シテ)斷根源等事 疑□文点并意如何
- 09 答如上意云解脱所得根源所離也 從仏歸家還本国等事 疑云歸家之
- 10 義如何答極樂為永住之処^(ニ)為本国^(ニ)故云歸家也 道場欲散等事 疑云散

- 11 之義如何答行法終ルカ 故聖衆還莊嚴具收也故云散也 又誦經唱讚
- 12 等事 尋云意如何答誦經者導師唱讚者和讚也 一人行香乃至又令小者
△七丁左)
- 01 等事 疑□意如何答行香者香賦人々也小者々淺老者也
- 02 次唱後讚等事 疑云意如何答行法終故唱後讚也例如後唱
- 03 唯知慚謝糺恩等事 疑云唯之言意如何答所謂仏菩薩中唯指糺迦也
- 04 大会頂礼別スニミタ等事 疑云文点如何答如上意行法了仏還本国給故
- 05 云別也 存亡利益難思議等事 疑云存亡者何等歟答如次現當利
- 06 益也 布施衆生歡喜心等事 尋云意如何答歡喜者云仏歡喜給也
- 07 散花行道訖等事 疑云此句二字不足如何答難知 請仏隨緣還本国等事
- 08 疑云隨緣之義如何答奉請諸仏各隨緣々還本國給ヘト云也 普散香花
- 09 心道仏等事 疑云心道者何等歟答心仏遊履故云道歟 又或本云心送リニ
- 10 仏何為正歟答送字可為正也 次打磬子等事 疑云磬子者何等歟
- 11 答以石作磬以金作云鐘也 又子之義如何答唐土文章子者安字也
- 12 次唱歎仏呪願等事 疑云其呪願文何等歟答西域記云西天讚仏用法
- △八丁右)
- 01 花勝鬘文也口云如來妙色心等也唐土習結願唱之也 又呪ホムノロフ字訓如何
身
- 02 答今讚義也 私云有云歎仏者自窃以ミタ如來至西方極樂種々莊嚴歎
- 03 莫能尽是也呪願者自然今請信弟子至等出娑婆門歸於淨土是也

- 04 尋云又願此功德已下三行引上書何意歟答恭敬義也於此有二義一公式テクシハ
- 05 令リヤウニ云上舉書平出トヒノニクラハ二字トハ云闕字トハ平出勝也約テイ帝王等シハ
- 06 闕字劣也約太子故也 即依法唱七礼敬唱隨意等事 疑云依法者
- 07 何等歟答法則也如下明 又七礼并隨意者何等歟答七礼在下隨意者
- 08 奉納歟 然今請弟子某甲等々事 疑云請信弟子者意如何答持五戒在家
- 09 人也不行邪姪トモセ云請受翻邪三歸云信トモセ也 奉請僧尼宿宵シヨウ行道等事
- 10 疑云僧尼何会一道場歟答奉請言總トモセ也不可有一処也 又以厨皇至クリヤコトシ乃至ハウノ乃
- 11 及以僧徒等事 疑云厨皇百味者何等歟答厨皇者國王貢仰ヨモギガラ処コトシ
- 12 云也百味者云味勝云也非數有百トモセ也 福命休強キヤウイヨウ等事 疑云休強之義
- △八丁左トモセ
- 01 如何 疑云休強之義如何答國王德ノク云休キヤウ明德メイ也 影衛ノソミマホル
- 02 觀前聖衆ヲク駢エキ往来等事 寻云駢駢者意如何答
- 03 遙加普備等事 疑云普備者意如何答遙加者豎自極榮垂アツマルウマヤ
- 04 加備トモセ也普備者橫自十方トモセ垂加備也 聖衆來迎花台普集等事
- 05 疑云花台者往生人所座歟若爾可一何云普集歟答願生人多云
- 06 普集也 哀愍六宮等事 疑云六宮者何等歟答后所居歟大夫人
- 07 外歟大夫人者正后也大夫人者正限一人太子云正可繼位王子一人也
- 08 橫括カネテ九居等事 疑云九居者何等歟答三界横云九居トモセ也有云四禪四無色

- 09 欲界五趣地 普為四恩三友帝王人王等事 疑云一々義意如何答四
 10 恩者父母三宝國王衆生之恩也三友者与世宝下品友也与世出世
 11 宝中品□也一向与出世宝上品友也或又与世出世宝為上品事モアリ
 12 王者帝釈也人王者転輪聖王乃至人間國王等也三友事俱舍論
- △九丁右)
- 01 光記廿九（俱舍論記、『大正藏』卷四二・四三五頁上）云先於有情分為三品所謂親友處中怨讐三各分三謂上中
 02 下上親友□謂法身賴波重恩捨使難住中親友者謂財法々交極相親
 03 愛下親友者謂唯財交亦相親愛文
- 04 三友反事 論語云孔子曰益云者三友損者三友 夕レ直友レ諒
- 05 友一多聞益矣友便辟^{キラ馬融曰便巧}所忌^{マコトアルヲ}
 06 損矣^{鄭玄曰便弁也}謂佞^{カクハ}而弁^{ケルガラ}自行者等一切時常依此法以為恒式等事 疑云依法者指
 07 上何文歟答總指上来也口云別指七禮之文也如臨終要決之四禮也
 08 送經致何處^乃至寶函中等事 疑云寶殿并寶函等指何處歟答寶殿者
 09 呪率摩尼寶殿也龍宮殿者龍宮城也此龍王願力安置七仏所說也
 10 石窟者唐土清冷山巖穴有金剛函彼安置八方聖教也彼函白長
 11 安城^{西故云西方}也如此送誦經彼色經卷說也 又如此奉送有何由
 12 歎答此三界処留仏法処故也 イ无

△九丁左)

01 文永五年戊辰九月十日亥時書了

02 於洛陽一条万利小路阿弥陀寺如形書写了

03 後見之人々南無アミタ仏一反穴賢々々

04 執筆永源(花押)

〔註〕

- (1) 『宗学院論集』九一号(二〇一九年)
- (2) 『岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所紀要』二〇号(二〇二〇年)
- (3) 『岐阜聖徳学園大学仏教文化研究所紀要』二一号(二〇二一年)
- (4) 前文から文脈が繋がらないため、直前に脱文があるものと推測する。

浄土真宗総合研究 第15号

令和4（2022）年3月18日 印刷

令和4（2022）年3月31日 発行

編集・発行 浄土真宗本願寺派総合研究所

〒600-8349 京都市下京区堺町92

TEL 075-371-9244

FAX 075-371-5761
